

VPTA 臨床整理・共有メモ

正式な採点票に添えて使う独自の記録補助 / 本紙のみで検査・採点はできません

正規のVPTAで得た結果と、追加観察・生活場面の情報を分けて整理します。検査図版、項目別の採点欄・基準値は掲載していません。

氏名・ID：_____ 日時：_____ 評価者：_____

01 本人・家族が困っている具体的な場面

何を見たとき／どこで／どのように困ったか／以前からなじみがあったか

02 結果を読むための条件

眼鏡・視力・視野・複視／照明／覚醒・疲労／言語理解／使用手・姿勢・運動

検査の版・実施範囲／未実施・中断と理由／標準条件から変更したこと

03 正式検査で観察した反応

該当領域・項目名／回答の言葉／反応時間／探索・修正の様子／原票の参照箇所

04 結果と、まだ確かめる必要があること

比較的保たれた機能／難しかった機能／感覚・注意・言語・記憶の影響

VPTA 臨床整理・共有メモ

追加観察と生活へのつなぎ方 / 正式検査の採点へ混ぜずに記録します

01 手がかりを変えたときの反応

条件・変更内容	本人の反応・時間・必要な支援
触覚／音／言葉による説明	
提示数／配置／背景	
文字／目印／人の名乗り	

比較の順序、答えを教えたか、同じ対象の反復かも記録。変更後の成功を正式検査の得点へ加えません。触覚では感覚・操作能力、文字では読みと理解も確認します。

02 生活目標と支援の確認

生活場面／本人ができるようになりたいこと／試す支援（まず一つ）

成功・失敗の事実／必要な声かけ／条件が変わったときの対応／次回の確認日

03 申し送り前のチェック

- ☐ 名前が出ないことと、対象を認識できないことを分けた。
- ☐ 未実施を0点や誤答にせず、理由を残した。
- ☐ 誤り点と正答数を混同せず、使用版・項目別基準を確認した。
- ☐ 補助なしの結果と、手がかりを加えた結果を分けた。
- ☐ 生活の安全性と、本人が使える手がかりを具体的に共有した。

正規資料：日本高次脳機能学会 VPTA案内

参考：鈴木匡子．失認．神経心理学．2025;41:54-61.

[doi:10.20584/neuropsychology.17245](https://doi.org/10.20584/neuropsychology.17245)

本紙は独自の臨床共有用メモであり、公式評価用紙や標準化された尺度ではありません。学会・検査開発者による監修や承認を意味しません。